

修士論文(要旨)
2015年1月

マレーシアの中等日本語教育に関する一考察
—現状を出発点に—

指導 佐々木 倫子 教授

言語教育研究科
日本語教育専攻
213J3020
頼 美倫

Master's Thesis (Abstract)
January 2015

A Study of Japanese Language Programs in Malaysian Secondary Education
: Starting with the Current Situation

Lai Mui Loon
213J3020
Master's Program in Japanese Language Education
Graduate School of Language Education
J.F. Oberlin University
Thesis Supervisor: Michiko Sasaki

目次

第1章 はじめに	
1.1 研究背景	1
1.2 研究目的	5
第2章 先行研究	
2.1 国際交流基金による調査結果	6
2.2 国立国語研究所による調査結果	9
2.3 マレーシアの日本語教育に関する先行研究	10
第3章 マレーシアの中等教育機関における日本語教育	
3.1 マレーシアの公教育制度全般	13
3.2 公教育における外国語教育制度	14
3.3 日本語教育のカリキュラム	19
第4章 調査概要と分析方法	
4.1 調査の概要	26
4.2 調査協力者および調査方法	27
4.3 分析方法	30
第5章 アンケート調査結果と分析	
5.1 回答者の基本情報	31
5.2 現行の日本語授業	33
5.3 日本語学習の目的・到達目標	36
5.4 生徒の学習観	40
5.5 日本語授業への感想・要望	44
5.6 アンケート結果の示唆	53
第6章 インタビュー調査結果と分析	
6.1 調査・分析手順	55
6.2 協力者全員の共通点	55
6.3 日本語教師の共通点	65
6.4 日本語教育関係者の共通点	70
6.5 インタビュー調査結果のまとめ	75
第7章 総合的考察	
7.1 マレーシア中高生の日本語学習状況	76
7.2 マレーシア中等日本語教育への提言・提案	79
第8章 おわりに	
8.1 本研究の調査結果	89
8.2 本研究の限界	91
8.3 今後の課題	91
謝辞	94
参考文献・参考教材・参考ウェブサイト	i
巻末資料 I・巻末資料 II	iv

要旨

本研究では稿者が直接関わってきたマレーシアの中等日本語教育の現状を出発点とし、主に生徒の学習状況とニーズ、日本語教員の指導意識について探る。それらを明らかにした上で、日本語学習の位置づけを見直し、今後のマレーシアの日本語教育に対して提言を試みる。

海外における日本語教育の現状に関する事例研究は数多くされている。しかし、マレーシア中等日本語教育の現場をテーマとする研究や、日本語学習への関心についての研究蓄積は乏しく、中等教育段階における研究の積み重ねが必要である。そこで本研究では、「マレーシアの中等日本語教育」に焦点を当てる。中高生を取り巻く学習状況の全体像を把握するため、まずマレーシアの中等教育全寮制3校と一般校3校で日本語を学んでいる中高生、計478名を対象にアンケートを行った。また、中等日本語教育関係者および日本語教師にインタビュー調査を実施した。協力者は、アンケート調査協力校の日本語教師3名、教育省管理職1名、国際交流基金職員1名の計5名で全員マレーシア人である。分析方法として、アンケートによる量的データは「プリコード回答法」による統計的方法を用い分析した。また、インタビューで得られた質的データは佐藤(2013)「コード・マトリックス」を採用し、概念的カテゴリーを作り上げ、それを基に、キーワードを取り出し、分析を進めた。

アンケート調査から、マレーシア中高生の日本語学習の目的は、全体的な傾向として、「興味・趣味」「実利・知識」などであり、これらの志向が学習への大きな動機づけとして機能していることが判明した。また、現行の授業を楽しく感じ、満足している一方で、多くの生徒たちが、「日本文化の要素を取り入れた学習内容」、「会話、読解練習」および「グループ活動」のような学習形態、「教材・視聴覚リソースの利用」を取り入れた授業を強く望んでいることが明らかになった。生徒の学習への関心・態度に合致した題材内容・授業活動が生徒の学習意欲を喚起し、生徒が主体的に学習していくことにつながっていくということが分かった。

インタビュー調査は、アンケート調査の結果をもとに、日本語教師および日本語教育関係者に行った。インタビュー結果から、共通して見えてきたのは、中高生の日本語シラバスにおける目標や構成などは概ね適切であるということであった。ただし今後、より「身近な題材を取り入れる」、「日本文化要素の強調」、「コミュニケーション志向」、「漢字の読み書きの練習」などが必要だと認識していることが見出された。また、今後の改善点としては「シラバス内の言語項目量の見直し」、「固定教室、教材・視聴覚機材やネットの利用」、「学習者中心」とした多様な授業活動を取り入れるべきだという意見が挙げられた。

さらに、それを踏まえ、マレーシア中高生の日本語教育を行うにあたり最も重要なものとして生徒の「学習継続意欲」が浮かび上がった。この結果から本研究では、その学習継続意欲を持たせる授業案とシラバス案を例として提案した。まず、生徒の学習継続意欲を高める授業案を考える上で留意した点は、「1つの身近な題材を中心に」、「生徒活動参加型」、「文化に関する生教材」を取り入れた点である。料理を題材に、料理の写真やウェブで公開されているレシピを使いながら、日本とマレーシアの料理の比較をグループディスカッションしながらまとめ、発表することで生徒の学習継続意欲を高められるのではないかと提案した。また、授業中の教師の働きかけによって、学習継続への意欲が高まる可能性が示されたことは、有効な教育的介入を考える上で示唆に富む。すべての教師が一から教育的介入や日本語・日本文化の教え方を考えるのではなく、教師の知見を積み重ねた、教師全員で共有できるシラバス別冊を作り始めることは意義があるのではないかと提案した。

が日本文化についての正確な情報をこのシラバス別冊から得ることで、抽象的なことを具体的に見える形で生徒に経験させることができ、生徒を刺激するだろう。これは生徒の日本文化に対する興味と関心を深められるだけではなく、学習意欲を持続させるのにも役立つのではないだろうか。

本研究では、授業案とシラバス案をひとつずつ提案するにとどまったが、日本語教師たちがリソースや授業案などを共有できるサイトや冊子などの作成、日本語学習を継続する意欲の測定方法、提案した授業案の実践や生徒の学習進度を効果的に進められるようにするための Can-do 評価表の開発が今後の課題となるだろう。それに加え、マレーシアの中等教育に適合した日本語学習が行われるように、教師は現場の生徒の学習現状のニーズや興味を理解し、把握し、学習意欲をかき立てるような工夫を凝らすことは言うまでもなく、続けていかなければならないことだと考えている。

参考文献・参考教材・参考ウェブサイト

- アン チュイキエン (2009)「マレーシア中等学校の日本語教育における現地化の現状現地教師の体験と実践活動を通じて語る」『東京外国語大学日本研究教育』pp.108-116
- 岩本尚希 (2009)『外国語学習者の学習環境と学習継続要因—遠隔接触場面参加者の言語学習ヒストリーから—』桜美林大学大学院日本語教育専攻修士論文
- 遠藤織枝 (2011)『日本語教育を学ぶ【第二版】その歴史から現場まで』三修社
- 太田陽子 (1999)「マレーシアにおける日本語教育 現地化に向かう現状と問題点」『一橋大学留学生センター紀要』pp.45-55
- 鐘ヶ江弓子 (2002)「マレーシアの教育政策と学校教育制度」『共栄大学研究論集』創刊号, pp.80-105
- 教育省中等外国語教育カリキュラム開発部門調査データ (2014)「外国語教育における学習数・教師数・機関数」「日本語統一試験成績表」資料
- 久保田美子 (2006)『国際交流基金 日本語教授法シリーズ第1巻 日本語教師の役割／コースデザイン』ひつじ書房
- 倉八順子 (1998)『コミュニケーション中心の教授法と学習意欲』風間書房
- 国際交流基金 (2013)『海外の日本語教育の現状 2012年度日本語教育機関調査より』くろしお出版, pp.50-51
- 国立国語研究所 (2005)『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 マレーシアアンケート調査集計結果報告書』(独)国立国語研究所 日本語教育部門
- 佐藤郁哉 (2013)『質的データ分析法 原理・方法・実践』新曜社
- 謝漢 (1995)「各国の日本語教育の現状マレーシアの日本語教育」『世界の日本語教育 日本語教育事情報告編』第2部, pp.31-38
- 坪山由美子・築島史恵 (2010)『国際交流基金 日本語教授法シリーズ第11巻 日本事情・日本文化を教える』ひつじ書房
- 當作靖彦・中野佳代子 (2013)『外国語学習のめやす 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』公益財団法人 国際文化フォーラム (TJF)
- 根津誠 (2006)「マレーシア中等教育における日本語教育事情」『国際交流基金クアラルンプール日本文化センター』日本語事業部, pp.281-285
- 三浦省五 (1983)『英語の学習意欲』大修館書店
- 山田勇人 (2011)「マレーシア中等教育における日本語教育の歴史と現状」『プール学院大学研究紀要』第51号, pp.295-303
- Kurikulum Bersepadu Sekolah Menengah (2009) *Huraian Sukatan Pelajaran Bahasa Jepun*,(Tingkatan 1 hingga 5) Bahagian Pembangunan Kurikulum, Kementerian Pelajaran Malaysia
- Kurikulum Bersepadu Sekolah Menengah (2008) *Sukatan Pelajaran Bahasa Jepun*, Pusat Perkembangan Kurikulum, Kementerian Pelajaran Malaysia
- マレーシア教育省中等外国語教育調査データ(最終検索日 2014/12/20)
<http://web.moe.gov.my/bpk/v2/index.php>
- マレーシアの基礎データ(最終検索日 2014/12/21)
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/malaysia/data>